

科目コード	N222
授業科目名	症状マネジメント
授業科目名（英文）	Symptom Management
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	立石 和子
授業の概要	臨床において遭遇することの多い症状について、その発生機序やメカニズム（病態生理）を理解し、対象の反応から臨床判断する能力を養う。症状を呈する対象者へのQOLへの影響から必要な看護を学ぶ。
授業の到達目標 （学修効果）	1. 主要な症状のメカニズムや発生機序を説明できる 2. 症状の予防や緩和に対するアプローチを根拠に基づき説明できる 3. 症状緩和のための具体的な援助を説明できる
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	筆記試験(60%)、グループワーク参加状況・グループ発表(40%)を総合的に評価し、60点以上を合格とする。
教科書	根拠がわかる症状別看護過程 改訂第4版 百瀬千尋/井澤晴美編集 南江堂 2023年 978-4-524-22537-8
参考書	適宜紹介する
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R7.6.2	月	Ⅲ	症状マネジメントの基礎	講義	立石 和子		
				予習 教科書の序章を読む				
				復習 講義内容の復習				
2	R7.6.9	月	Ⅲ	痛みのメカニズムと看護ケア	講義	立石 和子		
				予習 該当ページを精読				
				復習 講義内容の復習				
3	R7.6.16	月	Ⅲ	倦怠感の理解とアプローチ	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 該当ページを精読				
				復習 講義内容の復習				
4	R7.6.23	月	Ⅲ	栄養・代謝系症状の理解と看護（発熱）	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 グループワークにて発表準備				
				復習 講義内容の復習				
5	R7.6.30	月	Ⅲ	栄養・代謝系症状の理解と看護（悪心・嘔吐）	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 グループワークにて発表準備				
				復習 講義内容の復習				
6	R7.7.7	月	Ⅲ	呼吸器系症状の理解と看護（呼吸困難）	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 グループワークにて発表準備				
				復習 講義内容の復習				
7	R7.7.14	月	Ⅲ	循環器系症状の理解と看護（浮腫）	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 グループワークにて発表準備				
				復習 講義内容の復習				
8	R7.7.28	月	Ⅲ	複合症状の統合的マネジメントとフィードバック	グループワーク	立石 和子		
				予習 グループワークにて発表準備				
				復習 課題レポート				